

2024/03/13

思い通りの未来を築く方法

株式会社ベックスコーポレーション

Copyright (c):2024 BECS Corporation Co.,Ltd. All Rights Reserved

「思い通りの未来」と利害関係者

人は誰もが「思い通りの未来」を築くエネルギーを持っています。

では、あなたが望んでいるのは、どのような未来でしょうか。

どんな未来を築いていくにしても、もっとも重要となるのが人間関係です。

私たちは、一人では限られたことしかできません。人と人とのかかわりの中でこそ、素晴らしく壮大で、唯一無二の未来を築いていくことができるのです。

「思い通りの未来」を築くエネルギーの源泉は、今、あなたの周りの人間関係の中にあります。人間関係しだいで、あなたの未来は違ってきます。今、あなたがこれからどんな人間関係を築いていくかが、未来の形になっていくということです。

バイオエネルギー理論は、あなた自身を進化成長させていくとともに、あなたの周りにいる人も活性化させていくマネジメント法です。

そして、バイオエネルギー理論では、あなたの周りにはすべて「利害関係者」と位置づけます。

ビジネスの世界で利害関係者（ステークホルダー）というと、クライアントや従業員、消費者、株主など仕事の関係者に限られます。経営するうえで影響しあう相手を利害関係者と呼んでいます。

しかし、バイオエネルギー理論で示す利害関係者とは、狭い視野にとどまるものではありません。あなたの周りにはすべてが利害関係者です。

人生のパートナーも、恋人も、親も子も、兄弟も、親戚も、仲のよい友人も、疎遠になってしまった知人も、そしてクライアントも従業員も消費者も株主も、あなたがこれまで関わってきた、あるいは今、関わっている人すべてが利害関係者なのです。

なぜなら、彼らはみな、意識していようと無意識であろうと、あなたにエネルギーを送ってくれる相手だからです。そしてあなた自身も、彼らにエネルギーを送っています。

ただし、プラスのエネルギーを送りあえる相手は「利」、マイナスのエネルギーを送りあってしまう相手は「害」といった、単純な話ではありません。

すべての人は、「プラス」にもなるし「マイナス」にもなります。

そして、**相手が「プラス」か「マイナス」かは、あなた自身が「そうさせている」と**バイオエネルギー理論ではとらえます。

あなたがプラスのエネルギーを送れば相手はプラスになりますし、マイナスのエネルギーを送っているから相手もマイナスのエネルギーを返してきている、ということです。

たとえばあなたが今、「苦手」「嫌い」とマイナスの感情をいただいている相手がいたとしても、あなたが変わることによって相手も変わってきます。

それによって周りの人すべてを、あなたの夢と志の応援者へと進化成長させていくことができます。

バイオエネルギー理論とは、**自分を変えることで周りにいる人すべてを味方にしていくことのできる唯一無二の方法**なのです。

利害関係者はみな潜在意識が引き寄せた相手

あなたと利害関係者は、どのような縁で結ばれているか、考えたことはありませんか。

実は、**あなたの利害関係者はみな、あなたの「潜在意識」が引き寄せた相手**です。潜在意識が、あなたが進化成長していくために必要な相手を引き寄せている、とバイオエネルギー理論ではとらえています。

私たちの意識の世界には、意識できる部分と意識できない部分があります。

意識できる部分は、とても小さく全体の10%。これに対して、意識できない無意識の世界ははるかに大きく、全体の90パーセントを占めると言われています。この無意識の世界は「潜在意識」とも呼ばれます。

意識できる世界は、誕生してから今日まで培ってきた経験や知識で構成されています。

その意識の世界には、自分と他人、時間（過去・現在・未来）、プラスとマイナス、善悪の区別があります。私たちは、そうした区別にもとづいて発言し、行動します。一言でいえば「意識の力でコントロールできる世界」です。

一方、意識の90パーセントを占める無意識（潜在意識）の世界は、人類の進化の歴史から誰も経験したことのない未来まで、すべてを包括しています。一言でいえば「意識の力だけではコントロールできない世界」です。自分と他人、過去・現在・未来、プラスとマイナス、善悪などの区別がない世界です。

未来を思い通りに築いていくには、この潜在意識の世界を動かしていくことが重要になります。

では、潜在意識を動かすには、どうするとよいでしょうか。

意識と無意識の世界は、結びついています。よって、意識的に言葉でコントロールしていくことで、潜在意識の世界を動かしていくことが必要になります。

このとき**潜在意識を動かす力となるのが、あなたが抱く思い(夢や志)**です。夢や志があるからこそ、潜在意識は動くのです。

「こうあるべきだ」という言葉の奥にあること

経営者などリーダーの立場にいる人にもっとも多い悩みは、利害関係者との人間関係です。経営者が人間関係に頭を悩ませるのは、社員や取引先など、利害関係者の言動が会社の発展に大きく関わってくるためです。

また、家族関係にトラブルを抱えている人も大勢います。家族関係に問題があると、社会生活にも大きな影響を及ぼします。

ではなぜ、私たちは利害関係者との人間関係に悩みを持つのでしょうか。

最大の問題点は、自分にとって不都合があったときに、**「こうあるべきだ」「それは違うんじゃないの」「こう改善すべきだ」**と、周りに改善を求めることにあります。

あなたの利害関係者は、あなたの夢と志を実現させていくために、潜在意識が引き寄せた人たちです。

そして、現在のあなたがいる環境は、「過去の自分の言動によって築かれた世界」である、とバイオエネルギー理論では定義しています。

つまり、**私たちが見ている今の世界は、「過去の思いと言動の結果」**なのです。

「今」をどんなにがんばっても変えられないのは、「結果の世界」だからです。

それを大多数の人は、現在の世界が「今の自分が望む形」でないと、自分が望む形にしようとし、「こうあるべきだ」との言葉で相手に改善を要求します。特に経営者や仕事のできるリーダーは、「こうあるべき」という思考で常に頭の中をいっぱいにしていきます。

その言葉に相手が素直に従えばよいのですが、通常は素直に受け入れられません。

なぜなら、**あなたの「こうあるべきだ」は、あなたの価値基準に過ぎない**からです。

相手には相手の「こうあるべきだ」があります。人にはそれぞれ、自分なりの正論や正攻法があるのです。

よって、あなたが「こうあるべきだ」「それは違うんじゃないの」「こう改善すべきだ」と口にすれば、お互いに価値基準が違うので、そこからトラブルが必然的に生じます。

あなたが伝えたいことが、どんなに素晴らしいことであっても、相手は「押しつけられた」と反発を感じるためです。

特に私たちは、自分よりも立場が下の人に対して、トラブルを速やかに改善しようと思い、強く指摘して注意をします。それが「教育」とも思い込んでいます。

しかし、相手にとっては、無意識にトラブルを起こしているに過ぎないのです。

なぜ、無意識なのかといえば、**あなたの潜在意識が相手にトラブルを起こさせている**からです。だからこそ、こちらの言っている改善内容を、相手は素直に受け取れないのです。

ところが、相手が素直に受け入れない場合は、自分自身が嫌な顔をして感情的になって、強く指摘することになります。それは、相手にとって、なおのこと受け入れにくいのです。圧力(パワハラ)をかけられたと思い、心を閉ざします。

自分が無意識にやってしまったことをとやかく言われても、相手が納得するはずありません。そうだとするのに教育熱心で優秀なリーダーほど同じことを繰り返すため、永遠に問題解決できないのです。

だからこそ、今一度しっかりと考えてみることです。

あなたの周りにはいる人はすべて、あなたの潜在意識が引き寄せた相手です。

あなたの潜在意識がその人を引き寄せ、さまざまな発言や行為をさせておきながら、相手を改善しようとするのは、相手にとっても潜在意識にとっても理不尽極まりないことです。

では、相手に「こうあるべきだ」「それは違うんじゃないの」「こう改善すべきだ」と伝えたい感情がわいてきたときには、どうするとよいでしょうか。

「こうあるべき」と思った際にはワンクッション置き、

「『自分が相手にそうさせた結果』の現象である。つまり、潜在意識からのメッセージであるのだから、しかたがない」

と思って、まずは受け入れてから対処してください。今までと違った状況になるはずですよ。

その人は、あなたが進化成長していくために必要な気づきを与えてくれる存在なのです。

周りで起こることはすべて、あなたへのメッセージ

「周りで起こることは、すべて自分へのメッセージである。

周りはすべて自分が引き寄せ、自分が築き上げた世界である。

自分が気づいて自己修正すれば、周りの世界が変わり、未来が変わる」

これは、バイオエネルギー理論の中核となる考え方です。

利害関係者の中には、好きな人や気があう人、一緒にいて楽しい人がいれば、苦手な人、嫌いと感じる人もいるかもしれません。

人はみな、好きな人や楽しい人を大切に、ネガティブな感情を抱く人は自分の人生から排除しようとしています。

しかし、苦手な人や嫌いな人も、あなたの潜在意識が引き寄せた相手です。一般的な意味でいう利害関係者の「マイナス」になる相手とは、バイオエネルギー理論では「気づきを与えてくれる人(=大事な人)」にとらえます。

その人は、あなた自身に取り組まなければいけない「課題」があり、それを達成するために潜在意識が引き寄せた相手、ということです。

そうした大切な相手を「あの人は苦手だから」と遠ざければ、潜在意識は何度でも同じような人を気づくまで引き寄せます。

潜在意識からの「課題」は自ら取り組まない限り、生涯追いかけてくるのです。

逆にいうと、その人にそうした役回りをさせているのは、あなた自身だということです。

結果として、あなたは自分にも周りにも、理不尽極まりないことを、永遠に繰り返させていることとなります。

ここを抜け出すには、どうすればよいでしょうか。

利害関係者がミスやトラブルを起こしたときや、ネガティブな感情を抱く人と出会ったときなど、そこには潜在意識からのメッセージが隠されている、とまづ気づいてください。

そして、「ありがとうございました」と言葉にします。

「ありがとう」とは漢字で書くと「有り難う」となります。

「難」が「有る」と書いて「ありがとう」。

つまり、私たちがこの言葉を使ったとき、

「難が有りましたけれども、気づきました。これからプラスに変えていきます」

と、潜在意識に宣言したことになるのです。

そして、「なんでこんなこともできないんだ」と、たとえ事実であってもマイナスの発言はしないこと。マイナスの感情がわいてくることを抑えるのは難しくても、マイナスの言葉を使わないことは、自身の意識しだいで可能です。

いかなることも「自分が望まないマイナス」は口にしない。これが重要です。

なぜなら、自分の言葉がいちばんよく聞こえるのは自分だからです。

潜在意識の世界は、自分と他人の区別がなく、「私」しかいません。つまり、人称がない世界なのです。しかも、マイナスもプラスも、善悪の違いもありません。

あなたの発した言葉を、潜在意識は鵜呑みにします。そして、「あなたが望んでいる」と判断します。あなた自身がそれに気づいて、発言を改めない限り、周りの利害関係者に同じことを何度でもくり返させるのです。

ですから、現状のマイナス現象は、コメントしないことが重要です。

コメントするのは、自分が望んでいる未来のことだけ。

いかなるときも**プラスの世界を言葉にし、プラスで対応することによって、マイナスの出来事は減り、プラスの出来事が次々に引き寄せられる**ようになります。

「思い通りの未来」とは、そうして築かれていくのです。

では、具体的にどうすると、あなたの世界をプラスへと変えていけるでしょうか。
次の3つのステップで進めていきます。

【対処法】

ステップ 1

「今」は自分がつくり、 引き寄せた結果の世界であると気づく

人はみな、自分が意図しないことが起こると、「自分のせいではない」と他人事のように考えます。しかし、今ある世界はすべて「自分が引き寄せた結果の世界」です。

では、どうして自分が意図しないことが起こると、人は「自分のせいではない」ととっさに考えるのでしょうか。

背景には、「自分と周りは、まったくの別人」という思い込みが必ずあります。それこそ、今起こっていることを他人事と感じている現れです。

潜在意識の世界には、自分と他人の区別がないのと同じように、自分と相手の境界もありません。すべて自分が引き寄せ、自分がつくった世界なのです。

つまり、利害関係者とは、あなたの潜在意識そのものです。ですから、潜在意識の世界では、トラブルはすべてあなたが起こしたことになります。自分の言葉がいちばん聞こえるのはあなたの潜在意識であるため、言葉にしたトラブルはあなたが望んでいると思って、忠実に実現してくれるのです。

いわば言葉とは、潜在意識を動かすハンドルです。だからこそ、あなたが言葉にした結果は、現実世界に鮮明に現れてきます。

一例をあげて考えます。たとえば、あなたが注意し改善を要求したことを、何度もくり返す人が周りにいませんか？ なぜ、その人は同じミスをくり返すのでしょうか。

あなたが、「何度同じことを言わせるんだ」「この前も言ったよね」と言葉にしているからです。その言葉を聞いて反応するのは、あなた自身の潜在意識。潜在意識は「何度も同じことをしてほしい」と望んでいると思い、周りの人にトラブルをくり返させているに過ぎません。

ですから、トラブルがあった場合には、相手に「こうあるべきだ」とは一切コメントしないこと。まず、「しかたがない」と受け入れることです。

なぜかという、そのトラブルは、過去の自分の対処の仕方の結果が表れているだけだからです。

「こうあるべきだ」といっても改善にはつながりません。その瞬間、問われているのは、**あなた自身が「トラブルという現象と向きあうことで、これまでの自分の対処の仕方をどう変えるべきか」ということ**なのです。

それなのに、今までと同じ対処の仕方をしていたのでは、同じことの繰り返しになってしまいます。

トラブルを人のせいにするのは、まさにマッチポンプです。

自からマッチで火をつけておいて、自分で水をかけて消す、という自作自演をしているに過ぎないのです。

ほとんどの人が、そこに無駄なエネルギーを日々費やしています。

通常何か問題があると、それは自分が原因ではなく、外部要因だと思って、周りの人や何かのせいにして、改善を求める人が大勢います。これこそがまさにマッチポンプであり、トラブルをくり返す原因となっているのです。

だからこそ、**嫌なことほど、自分自身が相手に「そうさせた結果」であると判断し、「気づく」ことが大切**となってきます。

ここに気づくことで、自分の世界が思った通りに変わっていくのです。

自分のエネルギーが、相手を変えていきます。

自分が変われば、相手も必ず変わるのです。

道理をつかむのが難しいところですので、車の運転を例に解説します。

追い越し車線を走っているのに、前の車のスピードが遅いというとき、どう感じますか？

トラックが車間距離を詰めてくる、無謀な運転をする車のせいで嫌な思いをした、というときにも、マイナスの感情ばかりが働き、「自分のせいだ」とは思いもしないはずです。

しかし、それもすべて、自分が周りの車にそうさせた結果なのです。

渋滞が起こることも、自分がそうさせた結果の現れです。

「今日は五十日（ごとうび）だから、車が混むのはしかたがない」「この時間帯にここが渋滞するのは、いつものことだ」ということも、単なる思い込みに過ぎません。これも重要な気づきなのです。

「私が渋滞を起こしている」と気づき、周りの車に「迷惑をかけてすみません」と考えてみてください。

そうやって車の運転で訓練を積んでみると、会社の中の問題解決が簡単に感じられるようになります。

なぜなら、人が気づきを得るのは「立ち止まっているとき」だからです。

車という空間にいと、車を走らせていても、自分は止まっていて、周りばかりが動いているように感じます。しかも、瞬間瞬間で場面が変わっていきます。

これこそが、現実世界の凝縮した現れといえます。スピード感のある運転中の出来事に気づく訓練をしていくことで、現実世界で起こることはゆっくりと見えるようになります。すると、目の前で起こったトラブルを「気づきだ」と速やかに察知できるのです。

また、周りが自分勝手に動いているというのは思い込みに過ぎず、そのとき、自分も一緒に動いています。周りで起こることの中心にいるのは、常に自分自身です。すべては自分が引き寄せ、つくった世界であり、「今」とは自分自身が周りを動かした結果の現れなのです。

だからこそ、周りを換えようとする前に、自分の考え方を換えることです。

車の運転も、自分が変われば、周りの車も変わります。

自分が渋滞をつくっているのであり、周りに迷惑をかけているのは自分自身だととらえて、「申し訳ない。気づきました。ありがとうございました」と言うことで、渋滞はスムーズに解消されるのです。

タクシーも同じです。運転しているのはドライバーですが、周りの車を引き寄せているのは自分。後部座席に座っていても、同じ現象を引き寄せることができるのです。

ただし、現実世界では、自分が気づいたあと、周りが変わるまでには多少の時間差があります。車はすぐ結果が出ますが、人との関係には時間差がある。このことも理解しておく必要があります。

そうやって車の運転をするたびに訓練をしていくと、現実世界にてあなたが引き起こしている問題に気づきやすくなります。

電車通勤している人も、日々、同じような現象に遭遇しているはずで

電車に乗りあわせている人も、すべて自分が引き寄せている相手です。そう考えれば、**電車の中で過ごす時間を、周りを見て気づきを得る訓練の場へと変えることができます。**

電車の中にも、さまざまな人がいます。周りに迷惑をかけていることに気づいてさえいない人もいます。

『電話をしている』『大声で会話をしている』

『ちょっとぶつかっただけで、舌打ちをする』

『座席に荷物を置く』『車内でものを食べる』『車内でお化粧をする』

「そんなこと、電車内でしなくてもいいだろう」と思うようなことをする人もいます。

そこにあなた自身の気づきがあります。あなたの潜在エネルギーが引き寄せた結果の世界だととらえ、「ありがとうございました。気づきました」と感謝をする。そうした思考が、潜在エネルギーのメッセージを的確にとらえる訓練になるのです。

会社の中でのできごとと同様です。**社員が思い通りにならないのは、日常的に自分がそういう言動をしているから**です。

『言い訳をする』『ごまかす』『気に障ることを言う』『気をつかわない』

『言うことを聞かない』『連絡しても返事が来ない』『思うような結果を出さない』

『思うように売れない』『病気で休む』『遅刻をする』『交通事故を起こす』

『社員が辞める』『募集しても人が来ない』『指示したのに、指示通りやらない』

『労働争議を起こす』『不正行為をする』『人間関係のトラブルが起こる』

『不良品を出してしまった』『幹部がパワハラをする』

『顧客がクレームを言う』『受注が変動する』

こうしたこともすべて、自分自身が引き寄せた結果です。

潜在意識は、自分の言葉に強く反応します。

マイナスのコメントをすればするほど、潜在意識は「そうしてほしい」と望んでいると思って、**マイナスの世界を築き上げていく**のです。

これに気づけなければ、人は一生マイナスを引き寄せます。そして、気づくまで同じことを何度でもくり返すことになります。

ですが、プラスの出来事が起こったときにも、これと同じ現象を引き寄せることが可能です。

「ラッキーだった」と思えばそこで立ち止まり発展はありませんが、「自分が引き寄せた結果」と気づけば、次からはプラスの出来事が必然的に起こってくるのです。

つまり、よいことも悪いこともすべて「今ある世界は、自分の潜在意識が引き寄せた結果」だと気づくこと。そうすることで、私たちはステップ2へと進んでいきます。

ステップ 2

「今」に納得し、「気づきました」と宣言して過去の言動を清算する

自分の意図しないことが起こったときこそ、「ちょっと待てよ」と心の中で一呼吸置き、「自分が相手にそうさせた結果」だと考えることです。

通常は「トラブルは自分のせいではない」と、人は反射的に責任転嫁します。ですが、一呼吸を置くことができると、「これは自分への大切な気づきなのだ」と判断する時間的な余裕を持てるのです。

この一呼吸を置けるかどうかで、未来は変わっていきます。

「自分の過去の言動がそうさせた結果なのだから、しかたがない」と判断し、全て納得する(気づき自己認識する)ことによって、この時点で過去が清算されるのです。

これによって、相手があなたの言葉を受け入れる態勢が、よい方向に変わります。

その瞬間、潜在意識の世界の場面が自然に変わります。潜在意識の世界は、自分でがんばって変えるものではなく、気づいた時点で自然に変わるものなのです。そうして場面が変わると、潜在意識がプラスに動き出し、周りが味方になっていきます。

場面が変わった時点で、未来はよりよい方向へ動き出していきます。

ステップ 3

思い通りに進んだときの成功体験を積み重ね、 自信を持って、思いをきちんと伝える

場面が変わることによって、相手に思いが通じるようになります。ここまでくると、潜在意識からの課題は、ほぼ達成したのも同じです。

ところが、最後の仕上げができない人が、意外にも多いのです。

相手にあなたの思いをきちんと伝えることこそが、最後の仕上げです。

これが教育であり、相手に気づいてもらう重要な手法です。

つまり教育とは、「自分がそうさせている」と気づいたうえで、相手が理解し、素直に受け入れやすいように

「自分の考えを優しく、大らかに、正直に、前向きに、単純明快に、そしてはっきりと伝えること」

これができるば、相手も気づきを得て、自ら変わってきます。これこそが教育なのです。

プラスの言葉をプラスのエネルギーにのせて相手に伝えることで、相手のエネルギーもプラスに転じ、あなたを信じてついてきてくれるようになります。

なお、気づくにはエネルギーが必要です。特に未熟な人には、褒めたり、声をかけたりすることによって、プラスのエネルギーを送り、自信を持たせることが大切です。

リーダーの立場にある人は、周りの人すべてを「自分より未熟」と考えることです。ナンバー2、ナンバー3の位置にいる人に対しても同じです。「自分と同じ」と考えると「なんでできないんだ」とマイナスの感情が生まれますが、「自分より未熟」と思えば、プラスのエネルギーを優しく注ぎ続けることができます。

最初は難しくても、訓練を積んでいくうちに、必ず自分自身のバイオエネルギーが活性化し、実現できるようになります。そのためには、一つひとつ成功体験を積み重ねていくことが大切になってきます。

成功体験は、行動してこそ得られるものです。「こんな未来にしていきたい」と自分が思っていることをどんどん行っていき、**さまざまな成功体験を積み重ねることで、自信を持って、思いをきちんと伝えられるようになります。**

自分が気づき、自信を持つことで、すべてがプラスに向かっていきます。潜在意識が「あなたの進化成長のために気づきを与えよう」と課題を出す必要がなくなるからです。

それによって、**マイナスはすべてプラスに転換されて、あなたの未来は思い通りに進化成長していくのです。**

※ただし、自分の口から相手に伝えることが難しい場合も、ときとして起こってきます。変化をかたくなに拒む人（余計なことをしたくない人）が、なかにはいるからです。

そうした人にも、周りに心を許せる人が必ずいます。この場合には、第三者を通じて相手が納得できるように優しく伝えてもらうことです。そうした配慮もときには必要となってきます。

【対処法のまとめ】

【ステップ1】

自分の周りで起こる、よいことも悪いこと（理不尽なこと）もすべては過去の自分の思いと言動の結果。

自分がつくり、引き寄せた結果の世界であると気づく。

- マイナスは気づきと受け止めて、マイナスのコメントはしない。
言った通りの現象を潜在意識がつくってくれるので、
何事にもプラスの言動を心がける。

【ステップ2】

過去の言動の結果が「現在の世界」に現れている。

プラスの現象もマイナスの現象も自分がつくった結果と認識する。

特にマイナス現象は「しかたがないことだ」と納得し、

「ありがとうございました」と宣言して、

過去の言動を清算し、自己認識して未来につなげる。

- 自然に場面がプラスに転じて周りがよい方向に変わり、
同じようなトラブルは一切起こらなくなる。

【ステップ3】

思い通りに進んだときの成功体験を積み重ね、

自信を持って、思いをきちんと伝える。

周りで起こるマイナスは、すべてプラスに転換されて、

未来は思い通りに進化成長していく。

- 周りの人々にこの気づきのメカニズムを
「優しく、大らかに、正直に、前向きに、単純明快に、はっきりと伝えて」
人を正しく導く。

⇒ 思い通りの未来が築かれる！

【バイオエネルギー理論について】

バイオエネルギー理論とは、「人間が生まれながらに持っている基本的な行動特性」に影響を及ぼす、生命エネルギーを体系化した法則です。

この理論は、「顕在意識」と「潜在意識」をデジタル化した世界初の理論であり、1991年に米国ビジネス特許も取得しました。

人は誰もが生命エネルギーを内在しています。そのエネルギーは、人が誕生するときに宇宙から与えられています。地球上に生きるすべての生命体は、宇宙のエネルギーを受けて生まれてきており、それは人間も例外ではありません。

その宇宙のエネルギーが、人の基本的な気質や特性に影響を及ぼしている。このことを発見した我々は、独自のアルゴリズムで数値化し、データ検証（仮説検証）を繰り返し、バイオエネルギー理論として発見し、体系化しました。

そして、人の基本的な特性に影響を及ぼしている宇宙のエネルギーを「バイオエネルギー(生命エネルギー)」と名づけました。

バイオエネルギーが一人ひとりに発生するのは、自らの意思で呼吸した瞬間です。誕生の瞬間、宇宙の法則の中の生命体の一つとして、宇宙のエネルギーが与えられます。

宇宙が発するバイオエネルギーには、一定の周期があります。そのため、生まれた日によって、与えられるエネルギーの特性も異なることになるのです。

バイオナンバーは生年月日から算出されるため、同じ生年月日の人は、同じバイオナンバーを持つことになります。

ところが、同じ生年月日なのに、まるで異なる人生を人は歩みます。

なぜ、こうしたことが起こるのでしょうか。

基本的な特性や行動パターンは、バイオエネルギーで決まります。

ただし、親や兄弟など家族との関係や、家庭環境の違い、受けてきた教育、周辺の自然環境、交友関係、宗教など、人生の中での1分1秒すべてが、人によって異なっています。

この後天的な要因が複雑にからみあい、実際に表に出てくる特性や行動パターンは違ってきます。

同じバイオナンバーでありながら、表に出てきている特性が異なるのは、このためです。それほど、私たちのバイオエネルギーは、生まれた家庭や教育、社会などの環境に影響を受けやすいということです。

なお、バイオエネルギー理論では、この世界で起こることはすべて「必然」と考えます。人の誕生も同じです。

「私たちは、『この日、この宇宙のエネルギーを受けるために、この親を選んで誕生する』と自ら決めて生まれてきた」

とバイオエネルギー理論では捉えます。

なぜなら、この世界で起こることはすべてがエネルギー現象であり、自ら引き寄せた結果の世界が「今」だからです。

今、私たちが「ここ」にいるのは、親と誕生日を自ら引き寄せた結果なのです。

ここがバイオエネルギーを活性化していく原点となります。この原点を築いたところからバイオエネルギー理論を学ぶと、無限の可能性を自ら引き寄せることができるようになります。

私たちが「今、ここ」にいるのは、偶然ではなく、この時代に生きる理由があって、自ら選んでこの世界に来ている。これは、人生を好転させるために欠かせない思考です。

この思考を持つと、その瞬間から、誰もがこの世界で自分に必要とされている理由を探し始めます。それが生きる覚悟を生み、世のため人のために生きていく志を生みます。

その思い(志や夢)こそが、バイオエネルギーを活性化させる原動力となるのです。

すべての人は 36 通りのバイオナンバーに分類できる

バイオエネルギーは6種類あります。このことを発見した我々は、「1」から「6」の数字でエネルギーの特性を明確にし、6つの基本因子を以下のように名づけました。

- 「1」集中エネルギー（念力）
- 「2」交換エネルギー（情力）
- 「3」制御エネルギー（感力）
- 「4」蓄積エネルギー（持力）
- 「5」循環エネルギー（理力）
- 「6」発散エネルギー（動力）

以上の6つの基本因子がバイオエネルギー理論の根幹です。

私たちは誰もが、3つのエネルギーの組み合わせを持っています。この**3つの数字の組み合わせを「バイオナンバー」と**呼びます。バイオナンバーは36通りあります。

すべての人は、36通りのバイオナンバーのいずれかを持っていて、それは生年月日で決まっています。

なお、バイオナンバーの3つの数字は、「第1数」「第2数」「第3数」の順番で並んでいます。

このうち、エネルギーがもっとも大きく、人の特性に強く影響してくるのが、真ん中の第2数です。人が持つバイオエネルギーを100パーセントと考えると、第2数は全体の60パーセントを占めます。

一方、第1数は30パーセント、第3数は10パーセントになり、第2数より小さくなります。ですから、バイオエネルギーを活性化させるために、もっとも重要になるのが、第2数をコントロールしていくことです。

つまり、バイオナンバーのうちの第2数が、私たちのメインエネルギーとなります。特性や能力にもっとも強い影響を与えています。いわば、あなた自身の強みであり、魅力となる部分です。

第2数のバイオエネルギーを効率よく活性化していけば、私たちは何歳からでも永久に自己成長していけるのです。

バイオエネルギーの大きさ

※バイオナンバーが「123」の場合



第1数



2番目
30%

第2数



1番目
60%

第3数



3番目
10%

エネルギーの
大きさ

36通りのバイオナンバー

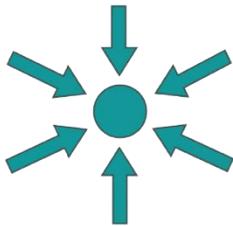
112	123	134	145	156	161
213	224	235	246	251	262
314	325	336	341	352	363
415	426	431	442	453	464
516	521	532	543	554	565
611	622	633	644	655	666

【1】集中エネルギー(念力)の特性

〈目標に向かって一直線に突き進む力〉

〈特性〉

目的や目標を一つに絞ることで、必ず実現できるだけのパワーが与えられる。理想を高く持つことで、人より先んじたり、人より上に立ったりできる。



【マークの意味】 一点集中する

【エネルギーのスピード】 スロー

【光の色】 シアン(青緑)

【「1」のエネルギーの使い方】

「1」のエネルギーは、方向を1点に集中して確定(絶対化)することによって原動力が生まれる。

一方、「必ず達成できる」という絶対的自信がない場合、周りから自分の方向と違ったことを言われたくないという思いが強くなり、迷いが生まれ、結果が出なくなってしまう。

そこで、「1」のエネルギーを使いこなすために大切なのは以下の2つ。

- ① 疑わず、いったん決めたら結果が出るまで信じ切る。
- ② マイナス発想せず、何を言われてもプラスに捉えて感謝する。

「1」のエネルギーを持つ人は、何事も細かく完璧にやるのが当たり前と思っている。しかし、周りはプレッシャーに感じて、自分にはできないと思ってしまう。

そのため、「意思を前向きな言葉でスピーディに伝える」必要がある。

※ヨイショして盛り立てる。

バイオエネルギー【1】の活性化状態の自己チェック表

	【1】が活性化している状態の自己チェック表	評価
①	常に細かく確認している	4・3・2・1
②	計画したことを周知してからやっている	4・3・2・1
③	常に完璧を目指している	4・3・2・1
④	現状に満足せず、成長し続けている	4・3・2・1
⑤	上品に振る舞っている	4・3・2・1
⑥	リーダーシップをとっている	4・3・2・1
⑦	本質を見極めて行動している	4・3・2・1
⑧	常に目標を決めて実践している	4・3・2・1
⑨	常にプラス発想をしている	4・3・2・1
⑩	絶対に譲れない信念がある	4・3・2・1

評価基準 4：よくできている 3：時々できている
 2：あまりできていない 1：全くできていない

	【1】が不活性にある状態の自己チェック表	評価
①	思い込みで勘違いしやすい	4・3・2・1
②	計画性がなく、途中で頓挫してしまう	4・3・2・1
③	相談しないでやり、雑になってしまう	4・3・2・1
④	自信がなく、何かあると尻込みしてしまう	4・3・2・1
⑤	こだわりが強く、意見を素直に受け入れられない	4・3・2・1
⑥	慎重になり過ぎて気持ちの切り替えができない	4・3・2・1
⑦	同時にいろいろやって優先順位がわからなくなる	4・3・2・1
⑧	何かあるとマイナス発想になって自信がなくなる	4・3・2・1
⑨	細かいことが気になって疑い深くなる	4・3・2・1
⑩	周りの声を聞き過ぎて迷ってしまう	4・3・2・1

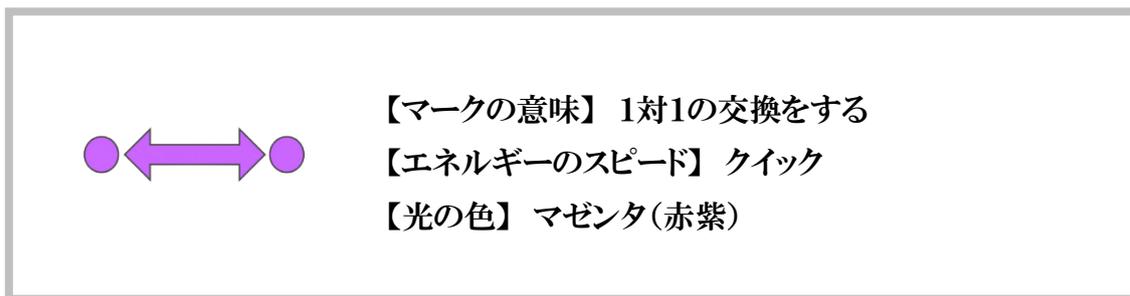
評価基準 4：全くない 3：あまりない 2：時々ある 1：よくある

【2】交換エネルギー(情力)の特性

〈他人の考えていることや立場を考慮し、思いやる力〉

〈特性〉

常に相手を中心に考え、相手の考え方や立場が十分に理解できる。
誰からも愛される存在になる。



【「2」のエネルギーの使い方】

「2」のエネルギーは、人との信頼関係を築き、お互いにエネルギーを交換していくことによって原動力が生まれる。

一方、「必要とされている」という絶対的自信がない場合、見返りを求めて疑心暗鬼に陥り、エネルギーが交換できず、一方通行になって孤立してしまう。

そこで、「2」のエネルギーを使いこなすために大切なのは以下の2つ。

- ① 相手が受け入れやすいように、定期的に優しく声かけをする。
- ② 相手の声には、誠意を持って素早く返す。

「2」のエネルギーを持つ人は、自分の気持ちは伝えなくても当然わかってくれると思っている。しかし、周りには全く通じていない。よってハッキリと伝えないと理解してもらえない。

そのため、『思いを細部まで丁寧に伝える』必要がある。

※重要なことは文章でも伝える。

バイオエネルギー【2】の活性化状態の自己チェック表

【2】が活性化している状態の自己チェック表		評価
①	よく気を使っている	4・3・2・1
②	継続的に努力し続けている	4・3・2・1
③	相手の立場を深く考えて対応している	4・3・2・1
④	本音で対応するよう心がけている	4・3・2・1
⑤	常に感謝の言葉を伝えている	4・3・2・1
⑥	常に協力する姿勢でいる	4・3・2・1
⑦	人の面倒を徹底して見ている	4・3・2・1
⑧	常に相手を立てることを意識している	4・3・2・1
⑨	出会いを大切にして縁をつないでいる	4・3・2・1
⑩	家族を大切にしている	4・3・2・1

評価基準 4：よくできている 3：時々できている
 2：あまりできていない 1：全くできていない

【2】が不活性にある状態の自己チェック表		評価
①	相手のことを考え過ぎて疲れてしまう	4・3・2・1
②	周りの目が気になって、その場だけ無理に取り繕う	4・3・2・1
③	親しくなるとわがままになり、気を遣えなくなる	4・3・2・1
④	本音を言わず、何を考えているかわからないと思われる	4・3・2・1
⑤	何かをもらったとき、お礼の言葉だけですませようとする	4・3・2・1
⑥	周りの意見を聞きすぎて断りきれなくなる	4・3・2・1
⑦	見返りがないと態度をひるがえしてしまう	4・3・2・1
⑧	立場が変わると態度も大きく変化する	4・3・2・1
⑨	意に沿わないことがあると相手を許せなくなる	4・3・2・1
⑩	外にばかり気を使って家族をないがしろにする	4・3・2・1

評価基準 4：全くない 3：あまりない 2：時々ある 1：よくある

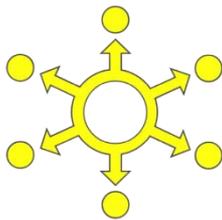
【3】制御エネルギー(感力)

〈状況の変化に柔軟に対応する力〉

〈特性〉

臨機応変に物事に対処し、エネルギーをバランスよく均一化しながら、最高の状態を保つ。

誰とでも明るく、自由・平等につき合うことができる。



【マークの意味】 制御し同化する

【エネルギーのスピード】 クイック

【光の色】 イエロー

【「3」のエネルギーの使い方】

「3」のエネルギーは、エネルギーをまんべんなく取り入れ、自由自在に周りと同化することによって原動力が生まれる。

一方、「どんなことにも適応できる」という絶対的自信がない場合、好き嫌いが激しくなり、嫌なことを避けて通ろうとしてしまう。

そこで、「3」のエネルギーを使いこなすために大切なのは以下の2つ。

- ① 誰とでも明るく前向きで大らかな気持ちで対処する。
- ② 何事にも興味を持って深く追求する。

「3」のエネルギーを持つ人は、何事も臨機応変に対応してほしいと思っている。しかし、周りはその場しのぎだと捉え、柔軟に対応できない。

そのため、『気持ちを優しく喜ぶように伝え、記録に残す』必要がある。

※礼状など感謝の気持ちを形で表す。

バイオエネルギー【3】の活性化状態の自己チェック表

【3】が活性化している状態の自己チェック表		評価
①	常に明るく笑顔でいる	4・3・2・1
②	何事も臨機応変に対処している	4・3・2・1
③	誰に対しても平等に接している	4・3・2・1
④	好き嫌いせず何でもやっている	4・3・2・1
⑤	興味があることは深く追究している	4・3・2・1
⑥	常に楽しんでやることを心がけている	4・3・2・1
⑦	何事も前向きに取り組んでいる	4・3・2・1
⑧	常に情報を集め、周りに発信している	4・3・2・1
⑨	何事も柔軟な思考で取り組んでいる	4・3・2・1
⑩	常に感情をコントロールできている	4・3・2・1

評価基準 4：よくできている 3：時々できている
 2：あまりできていない 1：全くできていない

【3】が不活性にある状態の自己チェック表		評価
①	苦手意識を持つと暗くなる	4・3・2・1
②	余裕がなくなるとその場しのぎになる	4・3・2・1
③	相手によって態度が変わる	4・3・2・1
④	第一印象で好きか嫌いかを決めつけてしまう	4・3・2・1
⑤	途中で興味が持てなくなり飽きてしまう	4・3・2・1
⑥	気分によって左右され節操がなくなる	4・3・2・1
⑦	何かあると後ろ向きになって投げやりになる	4・3・2・1
⑧	マイナス情報に振り回され、周りに発信してしまう	4・3・2・1
⑨	好き嫌いが出て反発し、受け入れられなくなる	4・3・2・1
⑩	嫌なことを避けて通ろうとして逃げてしまう	4・3・2・1

評価基準 4：全くない 3：あまりない 2：時々ある 1：よくある

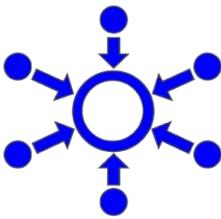
【4】蓄積エネルギー(持力)

〈何事にも、忍耐強く取り組む力〉

〈特性〉

何事にも真面目に忍耐強く取り組み、成し遂げる。

規則や慣習、礼儀・礼節を重んじ、正義感にあふれ、体力や気力に恵まれる。



【マークの意味】 収集し蓄積する

【エネルギーのスピード】 スロー

【光の色】 ブルー

【「4」のエネルギーの使い方】

「4」のエネルギーは、身の回りのあらゆる要素を取捨選択し、必要なものを蓄え、保存することによって原動力が生まれる。

一方、「自分の言動が正しく、正当に評価されている」という絶対的自信がない場合、節操がなくなり、何事にもルーズになってしまう。

そこで、「4」のエネルギーを使いこなすために大切なのは以下の2つ。

- ① どんなに辛いことでも、真面目に忍耐強く取り組む。
- ② 取捨選択の基準を明確にし、整理整頓を徹底する。

「4」のエネルギーを持つ人は、常に型通りにルールを守ってほしいと思っている。しかし、周りは形にとらわれ過ぎていて、厳しく堅苦しいと思ってしまう。

そのため、『流儀(ルール)を明るく大らかに伝える』必要がある。

※常に笑顔を忘れない。

バイオエネルギー【4】の活性化状態の自己チェック表

【4】が活性化している状態の自己チェック表		評価
①	常にルールやマナーを守っている	4・3・2・1
②	整理整頓を徹底している	4・3・2・1
③	何事もまじめに取り組んでいる	4・3・2・1
④	途中で諦めず最後まで成し遂げている	4・3・2・1
⑤	全責任をもってやっている	4・3・2・1
⑥	約束は必ず守っている	4・3・2・1
⑦	時間管理を徹底している	4・3・2・1
⑧	金銭管理を徹底している	4・3・2・1
⑨	無償の奉仕ができる	4・3・2・1
⑩	体力維持のため健康に気をつけている	4・3・2・1

評価基準 4：よくできている 3：時々できている
 2：あまりできていない 1：全くできていない

【4】が不活性にある状態の自己チェック表		評価
①	形に固執して多様性を受け入れない	4・3・2・1
②	必要のないものまで貯め込み捨てられない	4・3・2・1
③	億劫になって、やるべきことを後回しにする	4・3・2・1
④	つらいことがあると耐えられず、途中で諦めてしまう	4・3・2・1
⑤	結果が出ないまま、だらだらと続けてしまう	4・3・2・1
⑥	天秤にかけ、先に決めたものをないがしろにする	4・3・2・1
⑦	無理して安請け合いし、收拾がつかなくなる	4・3・2・1
⑧	お金を貯めることに執着し、使えなくなる	4・3・2・1
⑨	損得で判断し、本当の意味での奉仕ができない	4・3・2・1
⑩	ストイックに自分を追い詰め、無理をする	4・3・2・1

評価基準 4：全くない 3：あまりない 2：時々ある 1：よくある

【5】循環エネルギー(理力)

〈物事を冷静にとらえ、論理的に判断する力〉

〈特性〉

自然の法則に則って物事を理路整然と判断する。

いかなるときも冷静かつ論理的に判断し、スムーズに物事を運ぶことができる。



【マークの意味】 循環し調和する

【エネルギーのスピード】 スロー

【光の色】 グリーン

【「5」のエネルギーの使い方】

「5」のエネルギーは、多くの知識から適切なものを選択し、周りの状況を調和調整することによって原動力が生まれる。

一方、「周りを納得させることができる」という絶対的自信がない場合、頑固になり、人の話を素直に聞けなくなって孤立してしまう。

そこで、「5」のエネルギーを使いこなすために大切なのは以下の2つ。

- ① 常に冷静さを失わないように、謙虚な姿勢で学ぶ。
- ② 相談しやすいように聞き役に徹する。

「5」のエネルギーを持つ人は、自分の発言を当然納得してくれるだろうと思っている。しかし、周りは難しくわかりにくいことばかり言っていると思ってしまう。

そのため、『考えをわかりやすく例を挙げて伝える』必要がある。

※1対1の言葉のキャッチボールを大切にする。

バイオエネルギー【5】の活性化状態の自己チェック表

【5】が活性化している状態の自己チェック表		評価
①	よく考えてから行動している	4・3・2・1
②	人の話をよく聞くことを心がけている	4・3・2・1
③	「報・連・相」を徹底している	4・3・2・1
④	客観的に物事を判断している	4・3・2・1
⑤	どんなときも冷静に対処している	4・3・2・1
⑥	気楽に人の相談に乗っている	4・3・2・1
⑦	納得してもらうように丁寧に説明している	4・3・2・1
⑧	常に問題の原因を追求し解決している	4・3・2・1
⑨	常にリスクを想定して回避に導いている	4・3・2・1
⑩	勉強熱心でいろいろ学んでいる	4・3・2・1

評価基準 4：よくできている 3：時々できている
 2：あまりできていない 1：全くできていない

【5】が不活性にある状態の自己チェック表		評価
①	情報に疎く、考えが偏り、独りよがりになる	4・3・2・1
②	自分の考えに固執し、周りの意見を聞かなくなる	4・3・2・1
③	言わなくてもわかるだろうと思い、情報共有しない	4・3・2・1
④	頑固になり、自分の考えだけで物事を判断する	4・3・2・1
⑤	考え過ぎて堂々めぐりになり、決断できない	4・3・2・1
⑥	上から目線で取っ付きにくく、相談しづらい	4・3・2・1
⑦	説明が回りくどく、要点がわからず、周りが理解できない	4・3・2・1
⑧	問題を軽視し、原因を追求せず、同じ失敗を繰り返す	4・3・2・1
⑨	リスクを想定せず、想定外の事態に対応できない	4・3・2・1
⑩	勉強不足で知識が浅く、知ったかぶりをする	4・3・2・1

評価基準 4：全くない 3：あまりない 2：時々ある 1：よくある

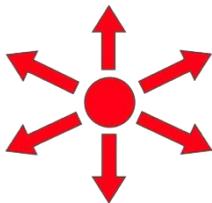
【6】発散エネルギー(動力)

〈瞬時の判断で行動を起こす力〉

〈特性〉

瞬時の判断ですぐに行動を起こし、気楽で機敏なため、あらゆるチャンス呼び込むことができる。

楽観的で、先のことをクヨクヨ悩んだりせず、常に前向きである。



【マークの意味】 あらゆる方向に発散する

【エネルギーのスピード】 クイック

【光の色】 レッド

【「6」のエネルギーの使い方】

「6」のエネルギーは、何事にも果敢に挑戦し、結果を出し続けることによって原動力が生まれる。

一方、「必ず結果を出す」という絶対的自信がない場合、方向性を見失い、消極的になって行動できなくなってしまう。

そこで、「6」のエネルギーを使いこなすために大切なのは以下の2つ。

- ① 常に自分がやりたいことを周りの人に相談し、確認する。
- ② 信頼されるように言行を一致させて、矛盾をなくす。

「6」のエネルギーを持つ人は、物事をスピーディかつ単刀直入に伝えたほうがよいと思っている。しかし、周りは唐突過ぎて理解できず、受け入れることができない。

そのため、『言動の趣旨を5W2H(だれが、いつ、どこで、なにを、なぜ、どのように、いくらで)で優しく伝える』必要がある

※一呼吸置いて考えてから行動に移す。

バイオエネルギー【6】の活性化状態の自己チェック表

【6】が活性化している状態の自己チェック表		評価
①	常に新しいことを積極的に体験している	4・3・2・1
②	自分でやるべきことは自力でやっている	4・3・2・1
③	何事も即実行している	4・3・2・1
④	常に気楽な気持ちで行動している	4・3・2・1
⑤	前例にないことでも果敢に挑戦している	4・3・2・1
⑥	自然に人を褒めている	4・3・2・1
⑦	常にプラス発言を心がけている	4・3・2・1
⑧	常に斬新な考えをとりいれている	4・3・2・1
⑨	頼まれごととは困難でもやり遂げている	4・3・2・1
⑩	チャンスを結果に結びつけている	4・3・2・1

評価基準 4：よくできている 3：時々できている
 2：あまりできていない 1：全くできていない

【6】が不活性にある状態の自己チェック表		評価
①	いろいろ心配して取り越し苦労する	4・3・2・1
②	自分で動かず人任せにする	4・3・2・1
③	せっかちに行動して周りを混乱させる	4・3・2・1
④	結果が出ないと焦ってイライラする	4・3・2・1
⑤	うまくいかないとすぐ見切りをつけすぎる	4・3・2・1
⑥	相手の問題点が気になり、追及して傷つける	4・3・2・1
⑦	オーバートークになり、不審がられ誤解される	4・3・2・1
⑧	的外れな提案をして賛同が得られない	4・3・2・1
⑨	無理難題を頼まれて嫌な気持ちになる	4・3・2・1
⑩	ピンチを人のせいにして押しつける	4・3・2・1

評価基準 4：全くない 3：あまりない 2：時々ある 1：よくある

バイオエネルギー表層第2数(1)

利害関係者を知り自己修正する方法

①	相手は大まかで雑な所がある。私はいかなる時にも細かく見直し、黙って正しい方向に修正する。
②	相手は無計画に行動する。私はいかなる時にも思いを伝えて具体的な計画を立ててから提案する。
③	相手は唐突に変更する場合がある。私はいかなる時にもその意図を理解し、周りに正しい方向を示す。
④	相手は聞いたことを忘れる。 私はいかなる時にもその都度、趣旨をはっきりと伝える。
⑤	相手は大雑把でざっくばらんである。私はいかなる時にも何事もおおらかに受け入れ、上品に振る舞う。
⑥	相手は直観的に矛盾を見抜く力がある。 私はいかなる時にも、事前に事実を単刀直入に伝える。
⑦	相手は同時に色々できる。私はいかなる時にも優先順位を決め、目標を一つに絞り、集中して突き進んでいく。
⑧	相手は無謀でトラブルを恐れない。私はいかなる時にも何事も思い通りにできるので、目標を決めて着実に実行する。
⑨	相手は不可能を可能にする力があり、結果を出せる。私はいかなる時にも前向きにプラス発想で何事も願う。
⑩	相手は良かれと思って色々言う。私はいかなる時にも参考にすが信念を貫き、惑わされずに実行する。

バイオエネルギー潜在第2数(6) 利害関係者がサポートしてくれる方法

①	私は新しい事に取り組む時には躊躇する。 相手は自ら新しい事に積極的に挑戦してくれた。
②	私は中々動かず人任せにする傾向がある。 相手は自力で即行動し、結果を出してくれた。
③	私は順序立てて考える。相手は言動の趣旨を説明し、私を納得させてから実行してくれた。
④	私は時間をかけてじっくりと考える。 相手は気長に待ち余裕を持って取り組んでくれた。
⑤	私は前例のない事には慎重になる。 相手は積極的にやって見せ、進めてくれた。
⑥	私は矛盾を見抜いても言いたくない。 相手はそこに直接触れず、丁寧に対応してくれた。
⑦	私は控えめで謙虚でありたい。相手は私のかわりに誠実にあらゆることに取り組んでくれた。
⑧	私は慎重で繊細である。相手は私の背中を押すために詳細なデータや根拠を提示してくれた。
⑨	私は都合の悪い事は言い出しにくい。相手はこちらの都合の悪いことを先読みし適切に対処してくれた。
⑩	私はピンチになるとパニックになりやすい。 相手はチャンスだと言って目的を成し遂げてくれた。

バイオエネルギー表層第2数(2)

利害関係者を知り自己修正する方法

①	相手はこちらの気持ちを感じ取ってくれない。私はいかなる時にも相手の希望に応える気遣いを徹底する。
②	相手はこちらの現状を全く理解できない。私はいかなる時にも思いをはっきり伝え、理解しているかを確認する。
③	相手は私の気持ちより理屈を優先する。私はいかなる時にも相手の立場や考えを理解し、先読みして対処する。
④	相手は自己主張が強く意見を押し通してくる。私はいかなる時にも本音をはっきり伝え、自分の考えを理解してもらう。
⑤	相手はギブアンドテイクの考えがない。私はいかなる時にもすぐに感謝の気持ちを伝えるとともに、丁寧にお返しをする。
⑥	相手は判断に時間がかかる。協力してもらうために、私はいかなる時にも早めに余裕を持ってお願いをする。
⑦	相手は人の世話が苦手である。私はいかなる時にも誰に対しても平等に徹底して面倒を見る。
⑧	相手は上から目線で指示をしてくる特性がある。 私はいかなる時にも常に相手を立て、謙虚に振る舞う。
⑨	相手は本来誠実である。私はいかなる時にも出会いを大切にし、行き違いがあっても、末永い人間関係を構築する。
⑩	相手は外面内面が変わることを気にする。私はいかなる時にも家族にも気を抜かず気遣いを徹底する。

バイオエネルギー潜在第2数(5)

利害関係者がサポートしてくれる方法

①	私は人からの評価を気にする。相手は私を素直に受け入れて、よい評価をしてくれた。
②	私は本音を言いたくない。 相手は本音を優しく聞き出し、癒してくれた。
③	私は自分から率先して情報共有ができない。 相手は積極的に「報・連・相」を徹底してくれた。
④	私は感謝してもらえることが嬉しい。相手は私の気遣いにその都度感謝の気持ちを伝えてくれた。
⑤	私は今の正直な思いを伝えたい。相手は素直に受け入れ、よいアドバイスだと喜んでくれた。
⑥	私は気持ちを聞いてもらおうと安心する。 相手は相槌を打ちながら私の気持ちを聞いてくれた。
⑦	私は都合の悪いことは言いたくない。相手は私が誤解しないように都合の悪い事こそすぐに伝えてくれた。
⑧	私は親しい人には改善点を指摘したい。相手は素直になって私の指摘を謙虚に受け入れてくれた。
⑨	私は物事を先読みして色々伝えたい。相手は意見を素直に聞き入れ、リスクを想定し対処してくれた。
⑩	私には達成したい夢がある。相手は素直に聞いてくれてステップアップの良いアドバイスをしてくれた。

バイオエネルギー表層第2数(3)

利害関係者を知り自己修正する方法

①	相手は礼儀とけじめを重視する。相手が厳しい態度を取っても、私はいかなる時にも明るく大らかに対応する。
②	相手は環境整備の徹底を望んでいる。私はいかなる時にも臨機応変に環境を整備する。
③	相手は古い常識に固執し、多様性を受け入れにくい。私はいかなる時にも好き嫌いせず、誰とでも仲良く平等に接する。
④	相手は保守的で自分流のルールを守ろうとする。私はいかなる時にも新しい情報を取り入れ、改革を促す。
⑤	相手は様々な情報を蓄積している。私はいかなる時にも色々質問して相手の興味を引き出し、深く追求する。
⑥	相手はみんなに足並みをそろえさせようとする。私はいかなる時にも大らかに受け入れるが、独自の行動も大切にする。
⑦	相手はがまん強く私を支えてくれる。私はいかなる時にも感謝をしつつ、明るく前向きに成すべきことを全うする。
⑧	相手は新しい分野や領域が苦手である。私はいかなる時にも専門知識を磨いて情報を集め応用改良に繋げる。
⑨	相手はメジャー思考にこだわる。私はいかなる時にもマイナーな事にも好奇心旺盛に取り組む。
⑩	相手は疲れてくると不機嫌になる。私はいかなる時にも相手が元気になるまで笑顔でヨイショをし続ける。

バイオエネルギー潜在第2数(4) 利害関係者がサポートしてくれる方法

①	私は余裕がなくなると怠惰になる。相手はどんな時もルールやマナーを大切にしてくれた。
②	私は情報過多になると收拾がつかなくなる。相手は情報を整理し、上手に活用してくれた。
③	私は嫌なことにはできれば関わりたくない。相手はまじめに取り組み、問題を解決してくれた。
④	私は苦手意識があるとすぐに諦めてしまう。相手は忍耐力を発揮し最後まで成し遂げた。
⑤	私は好き嫌いをしやすい。相手は大らかに受け入れ、根気よく接してくれた。
⑥	私は仕方なく約束を反故にする時がある。相手は余程の事がない限り約束を守ってくれた。
⑦	私は状況判断に迷うときがある。相手は完璧なタイムスケジュールで課題を達成してくれた。
⑧	私は金銭管理が苦手である。相手は優れた経済感覚で適切な金銭管理をしてくれた。
⑨	私は社会との関わりに弱い所がある。相手は奉仕の精神を持って社会に貢献してくれた。
⑩	私は健康管理に熱心である。相手は持ち前の体力で、私を支え続けてくれた。

バイオエネルギー表層第2数(4)

利害関係者を知り自己修正する方法

①	相手は余裕がなくなるとルーズになりやすい。 私はいかなる時にも徹底的にルールやマナーを守る。
②	相手は情報を色々集めるが上手く活用できない。私はいかなる時にも情報を整理し、必要なものを上手に活用する。
③	相手は嫌なことを避けて通ろうとする。私はいかなる時にも嫌なことほど率先して取り組み、問題を解決する。
④	相手は苦手意識があるとすぐ諦めてしまう。 私はいかなる時にも忍耐力を発揮し、最後まで成し遂げる。
⑤	相手は問題に直面すると暗くなりやすい。 私はいかなる時にも堂々と笑顔で対応する。
⑥	相手は自分の都合で約束を反故にする時がある。 私はいかなる時にも余程の事が無い限り約束を守る。
⑦	相手は状況判断に甘く無駄が多い。私はいかなる時にも完璧なタイムスケジュールで課題を達成する。
⑧	相手はお金を惜しみなく使う。私はいかなる時にも経済感覚を磨き続け、適切な金銭管理をする。
⑨	相手は社会貢献には弱い所がある。私はいかなる時にも奉仕の精神を持って行動し、社会に貢献する。
⑩	相手は自分の健康管理には熱心である。私はいかなる時にも体力があるといつて無理をせず、健康管理を徹底する。

バイオエネルギー潜在第2数(3)

利害関係者がサポートしてくれる方法

①	私は礼儀とけじめを重視し、人に厳しい。 相手は常に明るく大らかに接してくれた。
②	私は環境整備の徹底を望んでいる。 相手は臨機応変に環境を整備してくれた。
③	私は多様性を認めにくい。相手は好き嫌いせず誰と でも仲良く平等に接してくれた。
④	私は保守的で自分流のルールを大切にする。 相手は常に新しい情報を取り入れ、活用してくれた。
⑤	私は様々な情報を蓄積している。相手は興味のある ことを質問し、有意義なものにしてくれた。
⑥	私は世間的な考えを重視する。相手は大らかに認め つつ独自の斬新さで対処してくれた。
⑦	私は何事も忍耐強く支えたい。 相手は感謝しつつ明るく前向きに取り組んでくれた。
⑧	私は新しい分野や領域が苦手である。相手は知識 を磨いて情報を集め応用改良に繋げてくれた。
⑨	私はメジャーなものを重要視する。相手は好奇心旺 盛にマイナーなものも取り入れてくれた。
⑩	私は疲れてくると不機嫌になりやすい。相手は私が 元気になるまで笑顔でご機嫌を取り続けてくれた。

バイオエネルギー表層第2数(5)

利害関係者を知り自己修正する方法

①	相手は優しい時と冷たい時がある。相手が冷たく感じて、私はいかなる時にも考えを言葉にし、わかりやすく伝える。
②	相手は自分の本音をなかなか言わない。私はいかなる時にもあえて気楽に声をかけ、本音を聞く。
③	相手は、人柄は良いが情報共有が疎かになる。私はいかなる時にも率先して「報・連・相」を徹底する。
④	相手は常に感謝を期待している。私はいかなる時にも周りをよく見て、相手が気遣いをしてくれるたびに感謝を伝える。
⑤	相手の意見は的を射ている。私はいかなる時にも色々コメントしたくなるが、素直に聞いて、いったん受け入れる。
⑥	相手は気持ちを聞いてあげると安心する。私はいかなる時にも相槌を打ちながら、相手の気持ちをていねいに聞き出す。
⑦	相手は都合の悪いことは言わない。私はいかなる時にも素早く理由を説明し、誤解を生まないよう気を配る。
⑧	相手は親しくなると問題点を指摘してくれる。私はいかなる時にも胸襟を開き、指摘を謙虚に受け入れ、改善する。
⑨	相手は先を読めるタイプである。私はいかなる時にも相手の意見を素直に聞いて、リスクを想定する。
⑩	相手は大きな志を持っている。私はいかなる時にも相手の志から学び、自分の進化成長に繋げる。

バイオエネルギー潜在第2数(2)

利害関係者がサポートしてくれる方法

①	私は相手の気持ちを察知できない。相手は私の今の気持ちに応える気遣いを徹底してくれた。
②	私は相手の状況を良く理解できない。相手は自身の望む事を繰り返しはっきりと伝えてくれた。
③	私は人の気持ちより理屈を優先する。 相手は私の立場や考えを先読みし対応してくれた。
④	私は意見を強く押し通す時がある。相手は本音をはっきり言ってくれたので、歩み寄れた。
⑤	私はギブアンドテイクが分かりにくい。相手は気遣いをし、お返しと感謝の気持ちを伝えてくれた。
⑥	私は物事を進めるときは判断に時間がかかる。 相手は早めに余裕を持って対応してくれた。
⑦	私は人の面倒を徹底して見ることができない。 相手は私の面倒を気持ちよく見てくれた。
⑧	私は相手からは取っ付きにくく見える。 相手は低姿勢で気を遣って私を立ててくれた。
⑨	私は誰とでも誠実につきあいたい。相手は出会いを大切にして末永く良い関係を築いてくれた。
⑩	私は人の外面内面の変化を気にする。 相手は常に気を抜かず気遣いを徹底してくれた。

バイオエネルギー表層第2数(6)

利害関係者を知り自己修正する方法

①	相手は新しいチャレンジには躊躇する。 私はいかなる時にも新しいことに自ら挑戦し、結果を出す。
②	相手は中々動かず人任せにする傾向がある。私はいかなる時にも成功体験を作るために自力で即行動する。
③	相手は順序立てて考える。私はいかなる時にも行動の趣旨を丁寧に説明し納得してもらってから実行する。
④	相手は時間をかけてじっくりと考える。私はいかなる時にもイライラせず気長に待ち余裕を持って取り組む。
⑤	相手は前例のない事には慎重になる。私はいかなる時にも無理強いせず率先してやって見せてから進める。
⑥	相手は矛盾を見抜けず繊細である。私はいかなる時にもそこには直接触れず良いところを褒める。
⑦	相手は控えめで上品である。私はいかなる時にもオーバートークせず誠実に事実を正直に伝える。
⑧	相手は慎重で細かい。私はいかなる時にも賛同を得やすいように詳細なデータや根拠を提示し同意を得る。
⑨	相手は都合の悪いことは言わない。私はいかなる時にもそのことを先読みし、別の方法で対処する。
⑩	相手はピンチになるとマイナス思考になる。 私はいかなる時にもピンチはチャンスととらえ挑戦し続ける。

バイオエネルギー潜在第2数(1)

利害関係者がサポートしてくれる方法

①	私は大まかで雑な所がある。相手は常に細かく見直し黙って正しい方向に修正してくれた。
②	私は思いついたら即行動する。相手は趣旨が分からなくても具体的な計画を立ててくれた。
③	私は決めたことを唐突に変更する事がある。相手は代わりに変更理由を皆に素早く伝えてくれた。
④	私は聞いたことを忘れやすい。相手はその都度趣旨を明確にはっきり伝えてくれた。
⑤	私は大雑把なところがある。相手は仕方がないと受け入れ、上品に振る舞ってくれた。
⑥	私は直観的に判断し勘違いしやすい。相手は単刀直入にわかりやすく伝えてくれた。
⑦	私は同時に色々取り組める。相手は目標を一つに絞り、確実に実行してくれた。
⑧	私は無謀でトラブルを恐れない。相手はリスクを想定した上で対策を決めてくれた。
⑨	私は頼まれたことは不可能を可能にできる。相手は自分では難しい事を信頼して頼んでくれた。
⑩	私は良かれと思ってアドバイスしたい。相手は参考にしつつ自分の信念を貫いてくれた。